

電子メール [shimosha@suwataisha.or.jp](mailto:shimosha@suwataisha.or.jp)

諏訪大社

宮司 北島和孝 様

拝啓

私は People for the Ethical Treatment of Animals（動物の倫理的扱いを求める人々の会）を代表してお便りしています - PETA関連団体には、世界中に900万人以上のメンバーとサポーターがいます。

PETAアジアは、毎年元旦に、諏訪大社で五穀豊穰と一年の平穏を祈る神事の中で、2匹のカエルが無残にも矢で刺されていることを知り、憤慨しています。

カエルなどの動物を乱暴に殺しながら、平和を語るのは違和感があります。カエルは犬や猫のように可愛くないかもしれませんが、苦痛を感じるのは同じです。どうか、心を開いて、カエル、シカ、イノシシ、ウサギ、人間など、感覚を持つあらゆる存在に対する暴力に反対してください。

暴力に頼るのではなく、人種、宗教、性別、種を問わず、すべての存在に思いやりを持って接してはいかがでしょうか。思いやりのある多くの人々が提案しているように、儀式をなくすこともできます。カエルなどの感覚を有する生き物を刺すのではなく、野菜や果物を切ることで、世界の痛みや流血を減らすことができるのではないのでしょうか。

私たちは、この問題についてもっと話し合いたいと思っています。連絡先は、+852-6200-7588（香港）です。お時間をいただき、ありがとうございました。

敬具

2021年12月27日

PETA（動物の倫理的扱いを求める人々の会）

シニア・ヴァイス・プレジデント

ジェイソン・ベイカー